

「未来の夢計画 Future Vision Plan」

「未来の夢計画」は、ロータリー財団が 2017 年に創立 100 周年を迎えるにあたり、奉仕の第二世紀に移行するための計画として立てられた。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

「世界でよいことをしよう」という新しい標語が、ロータリー財団管理委員会、RI 理事会、規定審議会によって承認された。

未来の夢計画の主たる目的；

- ・手続きを簡素化し、地域ニーズに迅速に対応する。
- ・世界の優先的ニーズに焦点を絞り、持続可能で大規模なプロジェクトを推進する。
- ・奉仕の成果をもっと確実なものにする

パイロット地区による試行期間；2010-11 年度から、3 年間試行

新補助金制度のスタート；2013-14 年度から全世界で完全実施

新地区補助金の全般的基準と条件

< 基準 >

- ・すべての新地区補助金は、ロータリー財団の使命を守ること。
- ・ロータリアンの直接参加を含むこと。

< 条件 >

- ・補助金を律する条件を守る
- ・財団または RI に補助金授与以外の責任を負わせないこと
- ・法令を守り、個人または団体を傷つけないこと
- ・承認された活動だけに資金を使うこと
- 完了または開始したプロジェクトには補助金を授与しないこと
- ・補助金参加者について定められている Conflict of Interest（利害の衝突）の方針に従うこと
- ・ロータリー・マークを適切に使用すること

ロータリー財団「未来の夢計画」説明会が 2010 年 11 月 25 日岡崎竜美ヶ丘会館にて行われた。すでに本年度から始まっている 3 年間の試行期間であるが、パイロット地区に指定された第 2760 地区の一クラブとして次年度も、新地区補助金を申請することを協議事項として提案する。

社会奉仕および新世代奉仕教育的プロジェクトとして音楽教育環境整備支援事業を別紙のように計画したい。

岡崎市では以前より、周辺の地区に比べて、小・中学生から高校生に至るまで音楽教育特にコーラスの活動が盛んである。この中で 40 数年国内のみならず国際的な高い評価を得ているのが、愛知県立岡崎高等学校コーラス部（指導；近藤恵子先生）である。先日の卓話にもあったように「世界一」に 3 度輝くという快挙を達成した岡崎市民が誇りに思う高校生たちである。

しかし、県立高校であり、音楽教育の環境整備は必ずしも恵まれているとは言えない。（中でも夏休みの集中練習時には、3 階の音楽室は、空調が完備されていないために環境は劣悪となり、本年の猛暑には体調を崩す生徒も少なくなかったという。当初は空調設備の整備を考えたが、この点に関しては次年度、PTA による支援が行われ、改善されることとなった。）各パート練習に際してはハーモニー・ディレクター、個人練習用 CD・DVD・BL の作成には 100 名のクラブ員に対応が可能となるデュプリケーター、合唱台用ベンチが不足している。

ロータリーとの関係は、貢献度も高く、過去には地区大会において「奉仕の理想」を混声合唱に編曲、その演奏を披露していただいた記録がある。全国でもトップクラスの進学率を誇る多忙な高校生であるが、次年度の「未来の夢計画」として申請予定の「岡崎ふれあいコンサート」に協力を要請したいと思う。

コンサートには、岡崎の小・中学生を招待し、岡崎高校には練習の一部を公開していただき、指導によって完成度が高まる様子や表現力の豊かさなどを目前に見聞きすることによって、小・中学生の

感性にはどのような開花がみられるであろうか。また音楽教育に携わる指導者や生徒間の交流により地域の音楽の向上に繋がるように望みたい。

さらに我々ロータリアンも地域の合唱団の一員として参加し、音楽を通じてのマナー教室、個々の表現力と他の尊重から生まれる「調和とハーモニー」を体験したい。当日までに近藤恵子先生の編曲による「奉仕の理想」岡崎城南バージョンを完成させ、同コンサートにおいて発表に至ることができるよう全員でチャレンジしたい。この機会に何らかの感動が得られ、これをを携えてロータリー活動に励むことができるように望みたい。